

小学校

1 年

わたしの「ことばあそびうた」

岸和田市立八木小学校

教科

国語

単元名

ことばあそびうたをつくらう

単元でつきたい力

(教科等でつきたい力)

- ・身の回りのものの音や様子を表す言葉を見つけ、言葉遊び歌を作ること、言葉の響きやリズムのおもしろさを味わうことができる。

(学校図書館等の活用でつきたい力)

- ・図書資料を使って、身近なことを表す語句の量を増やし、文章の中で使うことができる。

本単元で育む学びスキルと学校図書館活用スキル

A-STEP 1, B-STEP 1
E-STEP 1, F-STEP 1

該当番号の詳細内容は

「大阪府情報活用能力

ステップシート」から確認できます。



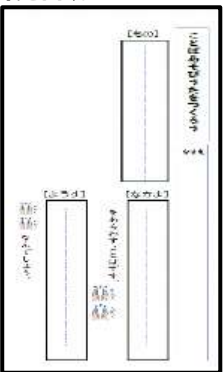
単元における学習の展開（全5時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第1次 (1時間)	○「たべもの」の歌を楽しもう。 ・詩の音読 ・学習計画を伝える。→自分のことばあそびうたを作る。
第2次 (3時間)	○「たべもの」の歌を真似して、言葉遊び歌を作ろう。(☆) ・音や様子を表す言葉を見つけよう。(本時) ・「たべもの」のうたを真似して、言葉遊び歌を作ろう。
第3次 (1時間)	○作った言葉遊び歌を、みんなで楽しもう。 ・言葉遊び歌の発表をしよう。 ・みんなで歌をつなごう。

本時のねらい

- ・身の回りのものの音や様子を思い浮かべて、擬声語や擬態語として表すことができる。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用及び言語能力の育成のためのポイント・指導上の留意点
導入 (5分)	1. 前時の復習を行い、本時の課題をつかむ。 ・「たべもの」の音読をする。 ・「たべもの」や「たべもの」以外のなかまの確認をする。 ・音や様子を表す言葉を集める。	・リズムに合わせて音読をさせる。
展開 (35分)	2. 自分で考えた身の回りの音や様子を表す言葉を書く。 ・自分で考えた手段で（触る、嗅ぐ、聞く、見る、食べる、考える）ことばを見つけ短冊型のワークシートに書く。  ・自分が見つけたことばをペアで交流し、ことばが表すものをクイズ形式で確認し合う。（「がたんごとん」→「電車」など） ・見つけた言葉を、全体でクイズ形式を用いて交流しながら共有する。	ブックトラックに今まで読んでいた本を並べておき、子どもが自由に取りに来て、言葉を見つけられるようにする。 ・1枚完成させられたら、2枚め、3枚めに取り組ませ、語句の量が増えていくことを実感させる。 ・ひらがな表を用意して、必要な児童にもたせる。
まとめ (5分)	3. ふりかえり ・自分が選んだものにぴったりの音や様子を表す言葉を書くことができたかをふりかえる。 ・この時間で見つけた言葉を用いて、「ことばあそびうた」を作ること伝える。	

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・本単元に入る前から、図書資料をたくさん（1人1冊以上）用意し、いつでも読めるように環境を整えていた。朝の学習の時間や休み時間、授業のすき間時間など、子どもたちは、興味を持って読書に取り組んでいて、図書資料が様子を表す言葉をイメージするのに役立っていた。
- ・「様子とは何か」を捉えやすくするため、イラストを見せながら具体例を挙げるモデリングを行った。また、ワークシートを短冊型にすることで、子どもたちは自由な発想を次々と言葉にして書き表すことができた。
- ・第1次「たべもの」の音読時に用いたリズム読みをみんなでつくった「ことばあそびうた」にも転用することで、子どもたちはことばのリズムを感じながら楽しく学習することができた。
- ・ひらがなの習得ができていない児童もいたが、書きたい気持ちが強く、ひらがな表を見ながら根気よく書くことができていた。



ことばを見つけてワークシートに記入しているところ。
図書を使ってイメージを膨らませている子どももいた。